十五　第二期以後の利子　毎年三月二十日及び九月二十日を支払期とし、各支払期において、その日以前六月間に属する利子を支払う。

十六　償還期限　平成三十一年九月二十日

十七　償還金額　額面金額百円につき百円

十八　元利金支払場所　日本銀行

十九　入札参加者　財務大臣から通知を受けた者

二十　払込期日　平成二十一年九月二十四日

○財務省告示第三百三十八号

国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵省令第三十号）第五条第十一項の規定に基づき、平成二十一年九月二十四日に発行した利付国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十一年十月九日

財務大臣　藤井　裕久

一　名称及び記号　利付国庫債券（二十年）（第百十三回）

二　発行の根拠法律及びその条項　財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行及び財政投融資特別会計からの繰入れの特例に関する法律（平成二十一年法律第十七号）第二条第一項並びに特別会計に関する法律（平成十九年法律第二十三号）第四十六条第一項及び第六十二条第一項

三　振替法の適用等　社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。

四　発行方法

イ　価格競争入札発行　価格を競争に付して行われる入札（以下「価格競争入札」という。）による発行（以下「価格競争入札発行」という。）及び価格競争入札と同時に行われる入札であって、財務大臣が各国債市場特別参加者ごとに応募限度額を定めるものによる発行（以下「国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行」という。）

五　募入決定の方法

イ　価格競争入札発行　各申込みのうち応募価格の高いものからその応募額を順次割り当てる。

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　各国債市場特別参加者ごとの応募限度額の範囲内において各申込みの応募額を割り当てる。

六　発行額

イ　価格競争入札発行　額面金額で一兆七十三億円

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　うち、財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行及び財政投融資特別会計からの繰入れの特例に関する法律第二条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で二千九百七十四億七百八十万円、特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で五千七百十一億百九十万円、同法第六十二条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で千三百八十七億九千三十万円

特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債について、額面金額で九百二十億円

七　払込金額

イ　価格競争入札発行　一兆百六十億八千百万円

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　九百二十八億四十万円

八　最低額面金額　五万円

九　振替単位　振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。

十　発行日　平成二十一年九月二十四日

十一　発行価格

イ　価格競争入札発行　額面金額百円につき百円七十五銭以上のそれぞれの応募価格

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　額面金額百円につき百円八十七銭

十二　利率　年二・一パーセント

十三　経過利子の払込み

(一)　募入決定の通知を受けた者は、払込金額に加え、次の算式により算出した金額を第二十号に規定する期日に払い込むものとする。

$$\text{額面金額の総額} \times \frac{2.1}{100} \times \frac{4}{365}$$

(二)　発行時において、その利子に係る所得税が源泉徴収されるものとして振替口座簿中の口座に記載又は記録されるものについては、前記(一)の算式により算出した金額から当該金額に百分の二十を乗じた金額（ただし、当該国債を発行時において取得する者が非居住者又は外国法人である場合には、前記(一)の算式により算出した金額に当該非居住者又は外国法人が適用を受ける所得税の税率を乗じた金額）を控除することができる。

十四　初期利子　平成二十二年三月二十日を支払期とし、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う（以下、次号及び第十六号において規定する期日について同じ。）。

$$\text{額面金額} \times \frac{2.1}{100} \times \frac{1}{2}$$

十五　第二期以後の利子　毎年三月二十日及び九月二十日を支払期とし、各支払期において、その日以前六月間に属する利子を支払う。

十六　償還期限　平成四十一年九月二十日

十七　償還金額　額面金額百円につき百円

十八　元利金支払場所　日本銀行

十九　入札参加者　財務大臣から通知を受けた者

二十　払込期日　平成二十一年九月二十四日

○財務省告示第三百三十九号

国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵省令第三十号）第五条第十一項の規定に基づき、平成二十一年九月八日に発行した利付国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十一年十月九日

財務大臣　藤井　裕久

一　名称及び記号　利付国庫債券（二十年）（第七十七回、第七十八回、第八十回、第八十一回、第八十二回、第八十四回、第八十五回、第八十八回、第九十回、第九十四回、第九十八回、第九十九回、第百二回、第百七回及び第百八回）及び利付国庫債券（三十年）（第二回、第三回、第八回、第九回、第十回、第十一回、第十三回、第二十一回、第二十三回、第二十四回、第二十五回、第二十六回、第二十七回及び第二十八回）

二　発行の根拠法律及びその条項　特別会計に関する法律（平成十九年法律第二十三号）第四十六条第一項

三　振替法の適用等　社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。

四　発行方法

利回り格差（第十七号に規定する利回りに応募した者が加算する数値をいう。次号において同じ。）を競争に付して行われる入札による発行

五　募入決定の方法

各申込みのうち利回り格差の小さいものからその応募額を順次割り当てる。

六　発行額　額面金額で二千九百九十五億円

内訳（別表のとおり）